

○日時 令和6年4月26日(金)
10:00~10:30
○場所 本庁舎4階 記者会見室

三和油化工業(株)・エア・ウォーター・マテリアル(株) との立地協定締結式

次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市 挨拶
(市長 武内 和久)
3. 三和油化工業(株) 挨拶・概要説明
(代表取締役社長 柳 均)
4. エア・ウォーター・マテリアル(株) 挨拶
(代表取締役社長 衛藤 昌彦)
5. 協定締結(署名)
6. 質疑応答
7. 写真撮影



配布資料

- ・ 配席図
- ・ 三和油化工業株式会社 事業説明資料
- ・ 北九州市4月19日投げ込み資料

【問合わせ】

北九州市 産業経済局 企業立地支援課
課長：浦、係長：三浦 電話：093-582-2065



 **三和油化工業株式会社**
 **エアウォーター・マテリアル株式会社**


サンワマテリアルソリューションズ株式会社 事業概要

2024年4月26日



事業をとりまく環境

 三和油化工業株式会社

 エアウォーター・マテリアル株式会社

- 九州地区には**半導体関連企業**を中心とする産業が集積し、今後も拡大すると見込まれています
- 資源を輸入に依存するわが国では**国内資源循環へのニーズが高まり**、市場規模も拡大します

これら工場が稼働すると、多くの化学材料が使用されますが、廃棄物も大量に排出されます。現状、九州地区においては有機溶剤等の化学材料をマテリアルリサイクルできる会社がほとんどありません。

北九州に新会社を設立、工場を建設することを決定
⇒九州地区の資源循環を促進し、
サステナブル社会の実現へ貢献



ターゲット顧客の一例

- ・JASM
- ・ソニー
- ・旭化成
- ・三菱電機
- ・住友化学
- ・京セラ
- ・昭栄化学工業



サーキュラーエコミー関連の市場規模



新会社の設立につきまして

新会社設立の目的

九州地区で半導体関連のものづくりが急速に増え、化学材料が大量に消費されますが、その原材料の多くは輸入品です。輸入依存度の高い**化学材料を国内で資源循環するため**、三和油化工業(株)とエア・ウォーター・マテリアル(株)は合併会社を設立します。

今後の社会に必須となる化学材料をマテリアルリサイクルする**九州地区初の事業**として、ここ北九州市で推進してまいります。

三和油化工業

国内資源循環に貢献する機能と実績をもつリサイクルメーカー

エア・ウォーター・マテリアル

九州を基盤とする化学品販売で長年の実績をもつ専門商社

会社名称	サンワマテリアルソリューションズ株式会社
本社所在地	北九州市戸畑区牧山5丁目（AGG(株)北九州事業所内）
代表者	代表取締役社長 山本浩貴（やまもと ひろき）
事業内容	産業廃棄物の処理、再資源化 工業用薬品全般についての製造、販売
資本金	450百万円（資本準備金225百万円含む）
出資比率	三和油化工業（株）65% エア・ウォーター・マテリアル（株）35%
設立年月日	2024年6月（予定）
新会社への投資額	約60億円（予定）
従業員数	約20名（2026年予定）・・・段階的に増員する予定です

新会社の立地(詳細)

輸入に依存する化学材料の国内循環を北九州市にて行います！！（九州地区初）

所在地：北九州市戸畑区牧山5丁目（AGC株式会社 北九州事業所内）

工場外観(予想図)



工事期間（予定）

着工：2025年初頭

完工：2026年春

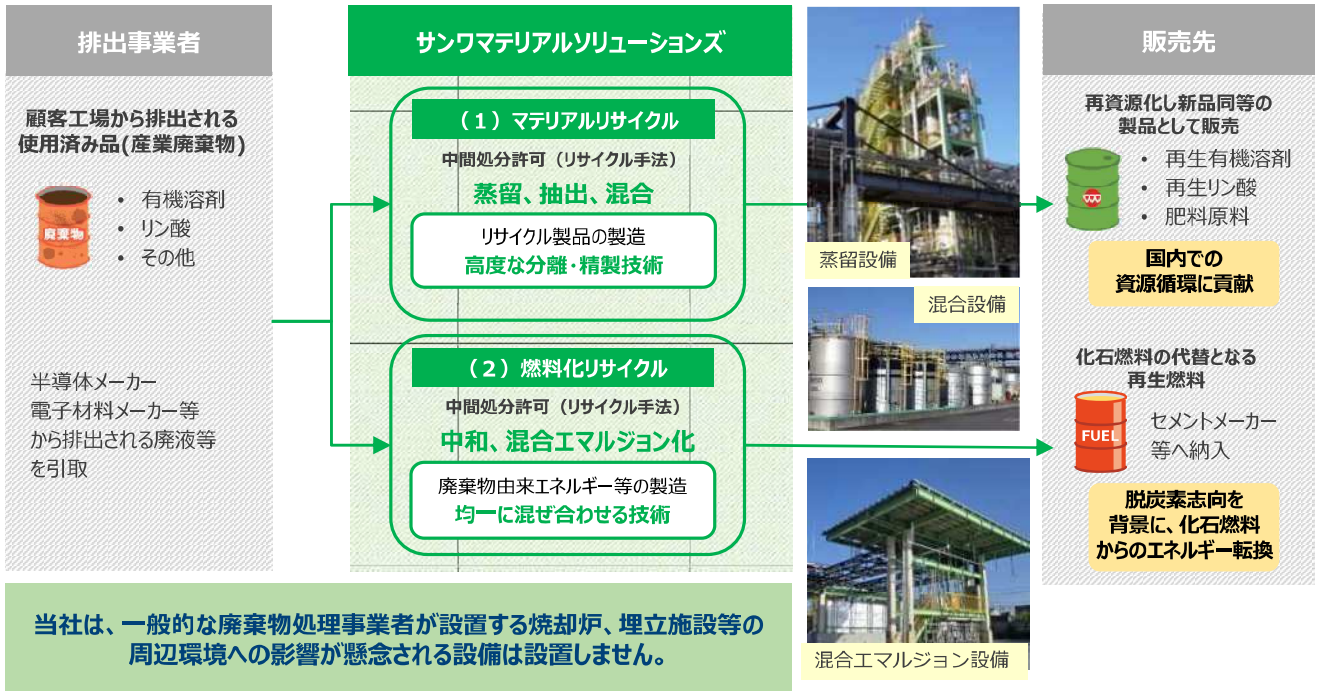
稼働開始：2026年中

船出荷用バース

バースを活用した船舶輸送も活用する予定です

事業の全体像

- 九州エリアを中心に成長が見込まれる**半導体関連企業等の産業廃棄物をマテリアルリサイクル**します
- マテリアルリサイクルと燃料化リサイクルの2段階で、**サステナブル社会の実現に貢献**します



マテリアルリサイクルの独自性

- **新品に近い品質**にまで分離・精製し、材料として再利用する**マテリアルリサイクル**
- 九州地区初の本格的な**マテリアルリサイクル拠点**として事業化
- **CO₂負荷が新品より低い**方法でマテリアルリサイクルを実施

独自技術でマテリアルリサイクルをソリューションします



①蒸留 (有機溶剤収集量国内NO.1)

物質ごとに異なる沸点の温度差を利用して、混合物から特定の物質を分離・濃縮する手法

②抽出 (リン酸抽出分離を国内唯一事業化)

溶媒等に対する溶解度の差を利用して、混合物から特定の物質を分離する手法

③混合

濃度の異なる複数の溶剤・酸等を混ぜ合わせ成分調整をする手法

①蒸留設備



②抽出設備



③混合タンク



設備イメージ

事業活動を通じ、輸入依存度の高い化学材料の

- ①調達リスク低減
 - ②コスト最適化
 - ③SDGs対応
- を九州地区で実現します。

ご清聴ありがとうございました

Appendix

三和油化工業（株）の概要

弊社は、「環境ニーズを創造する」をテーマに事業展開しており、産業廃棄物のリユース・リサイクルと環境にやさしい製品づくりを通じて、環境負荷の低減や資源の有効活用に注力してまいりました。ESGを念頭に置いた経営や持続可能な開発目標（SDGs）に準じた事業活動を推進し、サステナブルな社会形成に貢献し、「社会から必要とされる環境リーディングカンパニー」となることを目指しております。

会社名称	三和油化工業株式会社
本社所在地	愛知県刈谷市
代表者	代表取締役社長 柳 均（やなぎ ひとし）
事業内容	産業廃棄物の再資源化 リサイクル製品・化学品・油剤製品の製造販売 工場設備の撤去解体
資本金	1,588百万円
証券コード	4125（東証スタンダード市場/名証メイン市場）
設立年月日	1970年6月
売上高	173億円（2023年3月期実績）
従業員数	486名（2023年4月現在 グループ連結）
事業拠点	本社・事業所・営業拠点・グループ会社（右図）



三和油化工業の事業内容

リユース、リサイクル、化学品事業を中心に展開しております。

PCB事業

4.7% (22年3月期：6.3%)

PCB特別措置法に基づきPCB含有廃棄物の適正処理を行うためのソリューションを提供

自動車事業

14.0% (22年3月期：14.5%)

自動車メーカー・自動車部品メーカーなどに潤滑油や金属加工油などの油剤製品、工業用洗浄剤及び自動車製造工程で使用される各種副資材を製造・販売

化学品事業

32.7% (22年3月期：30.7%)

有機化学品や無機化学品及びそれらを精製・加工した化学品の製造・販売及び受託加工



リユース事業

18.1% (22年3月期：18.3%)

使用済み廃溶剤、廃酸、有用金属等を含む産業廃棄物などを中間処分・再資源化し、元の用途や素材として再使用

リサイクル事業

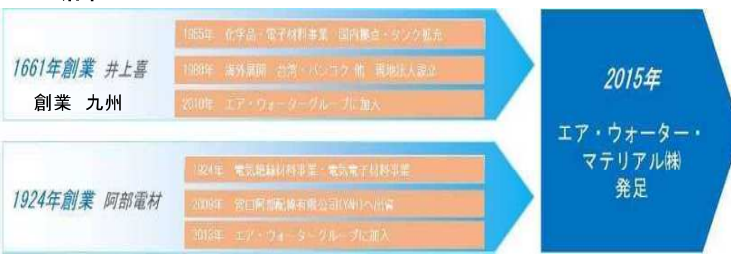
30.5% (22年3月期：30.2%)

使用済み廃溶剤、汚泥、廃プラスチック類などの産業廃棄物を中間処分・再資源化し、再生燃料やセメント・石灰・鉄鋼の副原料及び副資材としての2次利用を中心に再資源化

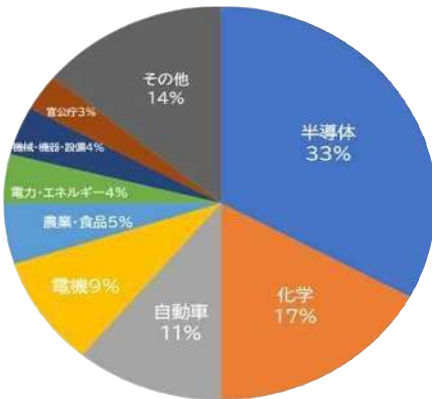
エア・ウォーター・マテリアル株式会社：会社概要

本社 〒105-8537 東京都港区浜松町2丁目13番7号
設立 2015年10月1日
資本金 150百万円
主要株主 エア・ウォーター株式会社
売上 504億円（連結ベース 2022年度）
役員 代表取締役社長／衛藤 昌彦
従業員数 269名
事業所 国内：24拠点
 海外：6ヶ国（中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、フィリピン）
事業内容 半導体薬品及び機器、化学工業製品他

沿革



業界別売上比率(%)



Keyword 1

グリーンイノベーション

躍進する環境分野、そのニーズに応えていくために
 持続可能な社会の実現につながるビジネス——と非むけ環境分野に開く領域は大きく成長を続けています。
 そこから生まれるニーズにこれまでに以上に即応していくべく、2021年10月に「グリーンイノベーション推進室」を設け、資源の効率的な利用と付加価値の最大化を図る「循環型社会ビジネス分野」、カーボンニュートラルの実現につながる「脱炭素社会ビジネス分野」、環境負荷の低減に寄与し、「人と自然の共存社会ビジネス分野」の3カテゴリーで、全社横断的取り組みを推進しています。

株主

商号	エア・ウォーター株式会社
設立	1929年(昭和4年)9月
代表者	代表取締役会長・CEO(最高経営責任者) 豊田 齊久夫
本社所在地	〒542-0081 大阪府中央区南船場2丁目12番8号 エア・ウォータービル
資本金	559億円
売上収益	連結 10,047億円 / 単体 1,690億円 (2023年3月期)
グループ会社数	276社(うち連結子会社185社)
従業員数	連結20,109名 / 単体634名

地球の恵みを、社会の望みに。

九州との関わり

エア・ウォーター・マテリアルは、創業1661年の井上喜と創業1924年の阿部電材が産業ガス大手エア・ウォーターのグループになり、2015年 合併・発足した会社になります。特に九州地区では、井上喜が長年に渡り構築してきた物流基地・物流センターにて電力及び半導体・化学品業界へ薬品などの商品を安定供給しております。
 また、一般建設業の許可にて、九州域内の取引先様に工場向けの塗装やタンク設置などの設備工事も行っております。
 九州は、アジアに近いこともあり、弊社は30年前より海外展開も積極的に進めております。特に東南アジアのネットワークで輸出入の機能を九州域内の取引先様に提供しております。

事務所・物流センター・基地配置図



宮崎物流センター

住所 宮崎県宮崎市清武町今泉山ノ内丙1871 今泉工業団地内(〒889-1602)
 設立 1976年(※2024年4月15日 現住所に移設)
 設備内容 危険物倉庫(152m²)・毒劇物(※)/一般倉庫(731m²) ※空調完備(一部)
 主配送車両 3台(トラック2台、ワゴン1台)



西九州物流センター

住所 佐賀県三養基郡みやき町大字江口4662-1 (〒849-0112)
 設立 2008年
 設備内容 危険物倉庫(約340m²)・毒劇物/一般倉庫(約781m²)・クリーンルーム(CR10000)
 ※空調完備(一部)・小型冷凍庫・冷蔵庫
 主配送車両 2台



熊本物流センター

住所 熊本県熊本市南区近見8丁目11-20(〒861-4101)
 設立 1981年
 設備内容 危険物倉庫(約160+146m²)・毒劇物/一般倉庫(約1,162+710+310m²)
 ※空調完備(一部)・小型冷凍庫/冷蔵庫
 主配送車両 3台



■海外拠点

- Epoch Technology Co., Ltd. (中国/上海)
- Inotek Taiwan Co., Ltd. (台湾/台北、新竹、台南)
- Inoueki (Thailand) Co., Ltd. (タイ/バンコク)
- Inoueki Singapore Pte Ltd. (シンガポール)
- Inoueki (Malaysia) Sdn. Bhd. (マレーシア(クアラルンプール))
- Inoueki (Malaysia) Sdn. Bhd. Kulim Office (マレーシア/クリム)
- Inoueki Philippines, Inc. (フィリピン/ラグナ)
- ※他Gr会社
(中国/ハーネス、タイ/溶剤再生、台湾/高純度ガス、フィリピン/成形)

伊万里物流基地

住所 佐賀県伊万里市山崎町4番地(〒843-0301)〒843-0250
 設立 1980年
 設備内容 489名従業員(工場 490m²×1棟 400m²×1棟 30%塗装庫 中圧圧入機設置庫 200m²×1棟 集荷センター) 可搬品専用機 5台設置



川内物流基地

住所 鹿児島県薩摩川内市川内町字山崎6120-8(〒898-1524)
 設立 1989年
 設備内容 総従業員数 10名(工場 350m²×1棟 300m²×1棟 30%塗装庫 200m²×2棟 高純度ガス 高純度ガス製造 2台)



半導体投資が進む九州で、化学材料の画期的な再資源化が実現！

三和油化工業株式会社・IA・ウォーター・マテリアル株式会社 北九州市に共同で新会社設立決定！

投資額

60 億円

令和6年4月26日（金）立地協定を締結します



IAウォーターマテリアル株式会社

半導体製造に欠かせない溶剤のリサイクルにおいて国内トップ企業の「三和油化工業株式会社」（本社：愛知県刈谷市 代表取締役社長 柳 均）と半導体産業を中心に化学薬品や産業ガス等を販売する専門商社の「エア・ウォーター・マテリアル株式会社」（本社：東京都港区 代表取締役社長 衛藤 昌彦）は、北九州市において合弁会社「サンワマテリアルソリューションズ株式会社」を設立し、半導体工場等から発生する有機溶剤などの産業廃棄物のリサイクル拠点の建設を決定しました。

半導体関連の工場建設・設備投資が進む九州地区では、今後も多くの化学材料が使用され、これまで以上に産業廃棄物のリサイクルニーズが高まることが予想されます。九州全域への充実した物流ネットワークを有する北九州市への進出により、シリコンアイランド九州全体の資源循環ニーズに対応する計画です。再生された液体は、電子部品や電池産業をはじめとした他の工業用途として活用されます。

北九州市としましては、この進出が九州全体の半導体サプライチェーンの強靱化につながることを期待しています。これを機に、北九州市における半導体や次世代電池等の未来産業の集積を促進し、「稼げるまち」の実現につなげてまいります。

この決定に伴い、北九州市、三和油化工業株式会社及びエア・ウォーター・マテリアル株式会社は、下記のとおり立地協定を締結し、共同の記者会見を実施いたしますので、ご案内いたします。

進出概要（場所、事業内容、雇用人数など）は締結式で発表します

記

1 立地協定締結式

(1) 日 時

令和6年4月26日（金）10：00～10：30

(2) 場 所

北九州市役所4階 記者会見室

(3) 締結者

三和油化工業株式会社 代表取締役社長 柳 均
エア・ウォーター・マテリアル株式会社 代表取締役社長 衛藤 昌彦
北九州市長 武内 和久

(4) 内 容

- ① 市長挨拶
- ② 三和油化工業(株) 柳社長 ご挨拶及び進出概要説明
- ③ エア・ウォーター・マテリアル(株) 衛藤社長 ご挨拶
- ④ 立地協定締結
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 記念撮影

2 企業概要

三和油化工業株式会社	
代表者	代表取締役社長 柳 均
本社所在地	愛知県刈谷市一里山町深田 15 番地
設 立	1970 年 6 月
資 本 金	1,588 百万円
従業員数	単体：313 名、グループ全体：486 名（2023 年 4 月末時点）
事業内容	リユース事業：産業廃棄物の高付加価値再資源化 リサイクル事業：産業廃棄物の再資源化 化学品事業：高純度溶剤の精製及び化学品受託製造 自動車事業：各種油剤製品の製造 P C B 事業：廃棄物処理に関するコーディネート
事業拠点	国内 7 拠点（本社・茨城事業所・大阪支店・北海道営業所・中四国営業所・東京支店・九州営業所）

エア・ウォーター・マテリアル株式会社	
代表者	代表取締役社長 衛藤 昌彦
本社所在地	東京都港区浜松町 2 丁目 13 番 7 号
設 立	2015 年 10 月
資 本 金	150 百万円
従業員数	269 名
事業内容	半導体薬品及び機器・消耗部材、電気絶縁材、機械器具およびシステム製品、化学工業製品 化学工業薬品、高圧ガス、食品添加物、各種産業資材、包装材、環境ビジネス
事業拠点	国内 24 拠点 海外 6 か国(中国・台湾・タイ・シンガポール・マレーシア・フィリピン)

【問い合わせ先】 産業経済局企業立地支援課
課長:浦 係長:三浦 電話:093-582-2065